

第8回クリニックみらい国立糖尿病教室 糖尿病患者さんのための災害対策について

平成25年9月28日に1階待合室にて糖尿病教室開催いたしました。



普段からお薬手帳を活用しましょう

- お薬手帳はあなたに処方された薬の名前や飲む量、回数などの記録(薬歴)を残すための手帳です。これがあると、医師・歯科医師や薬剤師が、どの薬をどのくらいの期間使っているのかが判断できます。又、他の病院などでお薬をもらうときにも、医師・歯科医師や薬剤師に手帳をみせることで、同じ薬が重なっていないか、また飲み合わせ等についての確認も行ってもらえます。

まず野川医師より現在予想されている東京都の地震についての講義と2011年の東日本大震災時の災害医療支援のため現地に派遣された当院スタッフの経験をもとに災害についてお話がありました。

引き続きウラン薬局 薬局長森先生より災害時の備えについてと西東京地区の災害時のウラン薬局の対応について(ウラン薬局はこの国立地区の災害時糖尿病地域ステーションで災害に備えインスリン備蓄も行っております。)説明いただきました。



院内展示

看護師が一人分の災害グッズをそろえて展示と説明を行いました。参加者の方も写真にとったり、参考になります、と好評でした♪

今後も楽しい教室をモットーに糖尿病教室を開催したいと思います。次回は11月29日(金)『運動療法のコツ』です。当院の運動療法士の馬場先生にも登場していただき、一緒に運動についてより実践的な運動について教えていただく予定です。参加費は無料です。皆さんふるってご参加ください。

